

# 高校生の4人に3人が秋入学を認知。 うち、4割弱が導入に賛成。

進路選択とグローバル化 「高校生価値意識調査 2012」より

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO 峰岸 真澄）が運営する、高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査や社外に向けての情報発信を行う、リクルート進学総研（所長：小林 浩）は、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、将来イメージや進路選択に対する価値意識調査を実施いたしました。一部を抜粋してご報告いたします。

## 秋入学について

### 高校生の4人に3人が秋入学を認知

- ・秋入学を認知している高校生は75.9%。
- ・男女別でみると、男子の認知率が高い。 男子（79.5%）>女子（73.0%）
- ・大学進学希望者では、「どのような内容なのかよく知っている」高校生も、35.9%にのぼる。

### 秋入学を認知している高校生のうち、4割弱が導入に賛成

- ・認知者のうち、秋入学の導入に賛成している高校生は37.8%。反対している高校生は19.5%。
- ・男女別でみると、男子のほうが導入に賛成している。 男子（39.9%）>女子（36.0%）
- ・秋入学の認知度別にみると「どのような内容なのかよく知っている」高校生では、約半数が賛成している。
- ・高校生全体（非認知者も含む）では、28.7%が賛成、14.8%が反対している。

### 導入に“賛成”“反対”の理由は「高校卒業してから大学入学までの期間」

#### ～ギャップタームの活用方法が課題に

- |       |     |                          |       |
|-------|-----|--------------------------|-------|
| ・賛成理由 | 第1位 | 高校卒業してから大学入学までの期間を有効に使える | 67.5% |
|       | 第2位 | 留学しやすくなる                 | 43.9% |
|       | 第3位 | 受験が終わって、ゆっくりする時間ができる     | 43.5% |
| ・反対理由 | 第1位 | 高校卒業してから大学入学までの期間がムダ     | 73.0% |
|       | 第2位 | 社会に出るのが遅れる               | 45.9% |
|       | 第3位 | 就職活動への影響が出る              | 36.1% |

## グローバル化について

### 高校生の7割が、グローバル化は自分と関係があると感じている

#### ～「男子」・「理系」、特に「地球・環境・エネルギー」分野希望者の意識が高い

- ・グローバル化は自分と関係があると感じている高校生は72.0%。
- ・男女別でみると、男子の意識が高い。 男子（75.4%）>女子（69.3%）
- ・文理系別でみると、理系の意識が高い。 理系（80.7%）>文系（69.3%）
- ・進学希望分野別にみると、
 

第1位	地球・環境・エネルギー	92.4%
第2位	数学・物理・化学	86.4%
第3位	旅行・観光・ホテル・交通	84.5%

### 高校生の85%が、外国語を学ぶ必要性を感じている

#### ～「女子」・「理系」、特に「国際・外国語」分野希望者の意識が高い

- ・外国語を学ぶ必要があると感じている高校生は85.2%。
- ・男女別でみると、女子の意識が高い。 女子（86.7%）>男子（83.3%）
- ・文理系別でみると、理系の意識が高い。 理系（89.7%）>文系（84.0%）
- ・進学希望分野別にみると、
 

第1位	国際・外国語	97.1%
第2位	数学・物理・化学	95.1%
第3位	旅行・観光・ホテル・交通	91.4%

リクルートはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/form/inquiry\\_press.php](https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php)

## 【調査概要】

### 調査目的

高校生の将来イメージおよび進路選択に対する価値意識を把握する。

### 調査期間

2012年4月13日（金）～4月20日（金）

### 調査方法

インターネット調査

### 調査対象

株式会社マクロミルのモニター会員のうち、2012年3月時点の高校生を対象にスクリーニング調査を実施し、下記の もしくは に該当した者、を調査対象とした。

2012年4月現在、高校2年生、3年生で大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討している男女。

2012年4月現在、高校既卒者で、高校時代に大学・短期大学・専門学校いずれかへの進学を検討したことがある男女。

対象数は条件に該当した者から、平成23年度学校基本調査（確定版）の「全日制・本科 生徒数（県別）」を基に、関東/関西/東海/その他エリアの4つのブロック別に、回収数が実際の生徒数の比となり、かつ各ブロックごとの高校1年生～3年生（3月時点）の数は均等となるように設定した。

関東エリア：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

関西エリア：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

東海エリア：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

その他エリア：上記以外の都道府県

### 集計対象数

1,239人

本プレスリリースに該当する秋入学・グローバルに関する設問部分のみ、現高校2年生・3年生の826人を集計対象とした。

# 【集計対象者プロフィール】

## 高校所在エリア（高校2～3年生 全体 / 単一回答）

(%)	関東	東海	関西	その他 エリア	北海道	東北	甲信越	北陸	中国・ 四国	九州・ 沖縄
調査数	826									
高校2～3年生 全体	30.8	12.1	16.2	40.9	9.2	5.6	4.1	3.4	9.8	8.8

## 現在(2012年4月)の学年（高校2～3年生 全体 / 単一回答）

(%)	高校2年生	高校3年生
凡例		
高校2～3年生 全体 (n= 826)	50.0	50.0

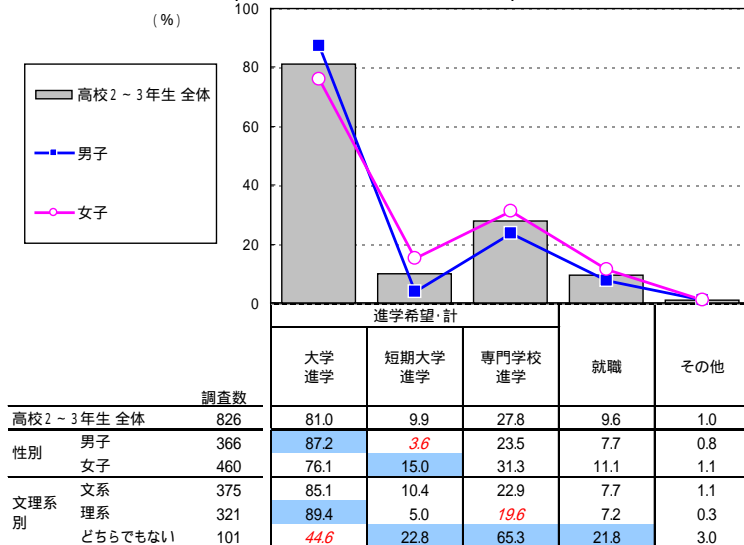
## 性別（高校2～3年生 全体 / 単一回答）

(%)	男子	女子
凡例		
高校2～3年生 全体 (n= 826)	44.3	55.7
文系 (n= 375)	33.3	66.7
文理系別 理系 (n= 321)	61.1	38.9
どちらでもない (n= 101)	32.7	67.3

## 文理の志向（高校2～3年生 全体 / 単一回答）

(%)	文系	理系	どちらでもない ・わからない	まだ 決まっていない
凡例				
高校2～3年生 全体 (n= 826)	45.4	38.9	12.2	3.5
性別 男子 (n= 366)	34.2	53.6	9.0	3.3
女子 (n= 460)	54.3	27.2	14.8	3.7

## 高校卒業後の希望進路（高校2～3年生 全体 / 複数回答）



100.0 「全体」より5ポイント以上高い  
100.0 「全体」より5ポイント以上低い

「文理の志向」は、高校生本人が「文系 / 理系 / どちらでもない / まだ決まっていない」から選択したもの。

## 【秋入学の認知】

### 高校生の4人に3人が秋入学を認知。

- ・ 認知者 75.9% > 非認知者24.1%
- ・ 大学進学希望者では、「どのような内容なのかよく知っている」高校生は、35.9%にのぼる。

### 男女別にみると、男子の認知率が高い。

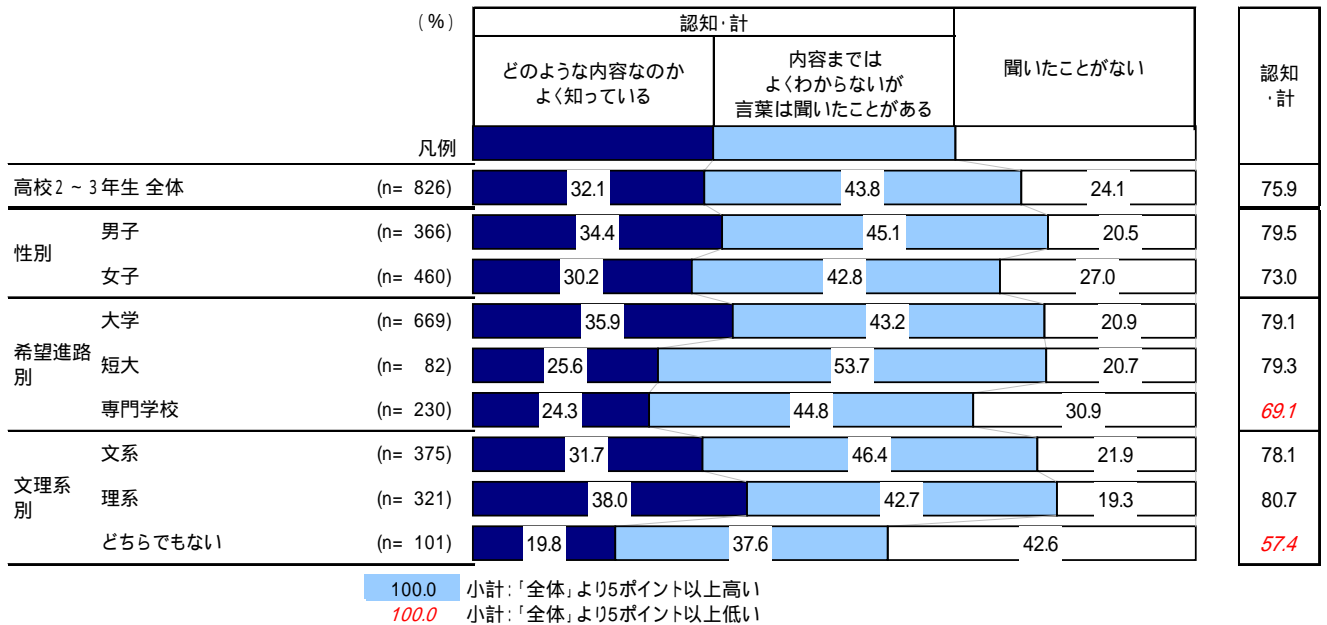
- ・ 男子認知者 79.5% > 女子認知者 73.0%

### 希望進路別にみると、専門学校進学希望者に比べ、大学・短期大学進学希望者の認知率が高い。

- ・ 大学進学希望者のうち、認知者 79.1%
- 短期大学進学希望者のうち、認知者 79.3%
- 専門学校進学希望者のうち、認知者 69.1%

### 「秋入学」の認知（高校2～3年生 全体 / 単一回答）

大学の「秋入学が検討されていること」についてお聞きます。あなたは、「秋入学」についてどの程度知っていますか。



質問紙の回答の「どのような内容なのかよく知っている」、「内容まではよくわからないが言葉は聞いたことがある」をあわせて「認知」、「聞いたことがない」を「非認知」とした。

# 【秋入学導入に対する賛否】

秋入学を認知している高校生のうち、4割弱が秋入学導入に賛成。

・賛成 37.8% > 反対 19.5%

男女別にみると、男子のほうが導入に賛成している。

・男子「賛成」 39.9% > 女子「賛成」 36.0%

希望進路別にみると、専門学校進学希望者に比べ、大学、短期大学進学希望者のほうが導入に賛成している。

・大学進学希望者 「賛成」 38.9%  
 短期大学進学希望者「賛成」 41.5%  
 専門学校進学希望者「賛成」 34.0%

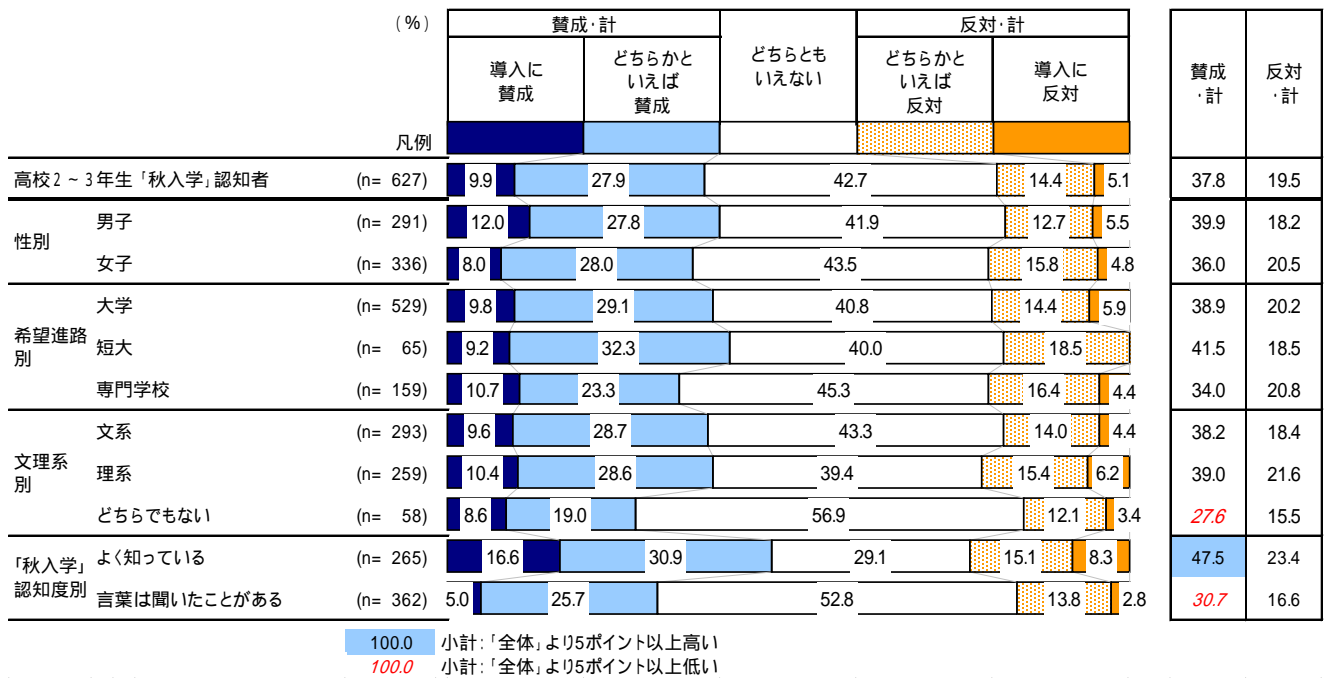
秋入学の認知度別にみると、どのような内容なのかよく知っている高校生では、約半数が賛成している。

・どのような内容なのかよく知っている「賛成」 47.5%

高校生全体（非認知者も含む）では、28.7%が賛成、14.8%が反対している。

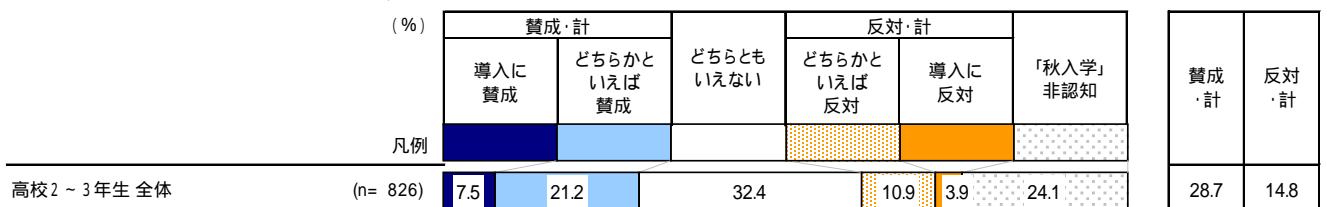
## 「秋入学」に対する賛否（高校2～3年生「秋入学」認知者/単一回答）

「秋入学」についてどのようにお考えですか。



## 「秋入学」に対する賛否（高校2～3年生 全体/単一回答） 「秋入学」非認知者（「聞いたことがない」）を含む

「秋入学」についてどのようにお考えですか。



質問紙の回答の「導入に賛成」「どちらかといえば賛成」をあわせて「賛成」、「どちらかといえば反対」「導入に反対」をあわせて「反対」とした。

# 【秋入学導入に賛成の理由】

賛成の理由は、「高校卒業してから大学入学までの期間を有効に使える」。

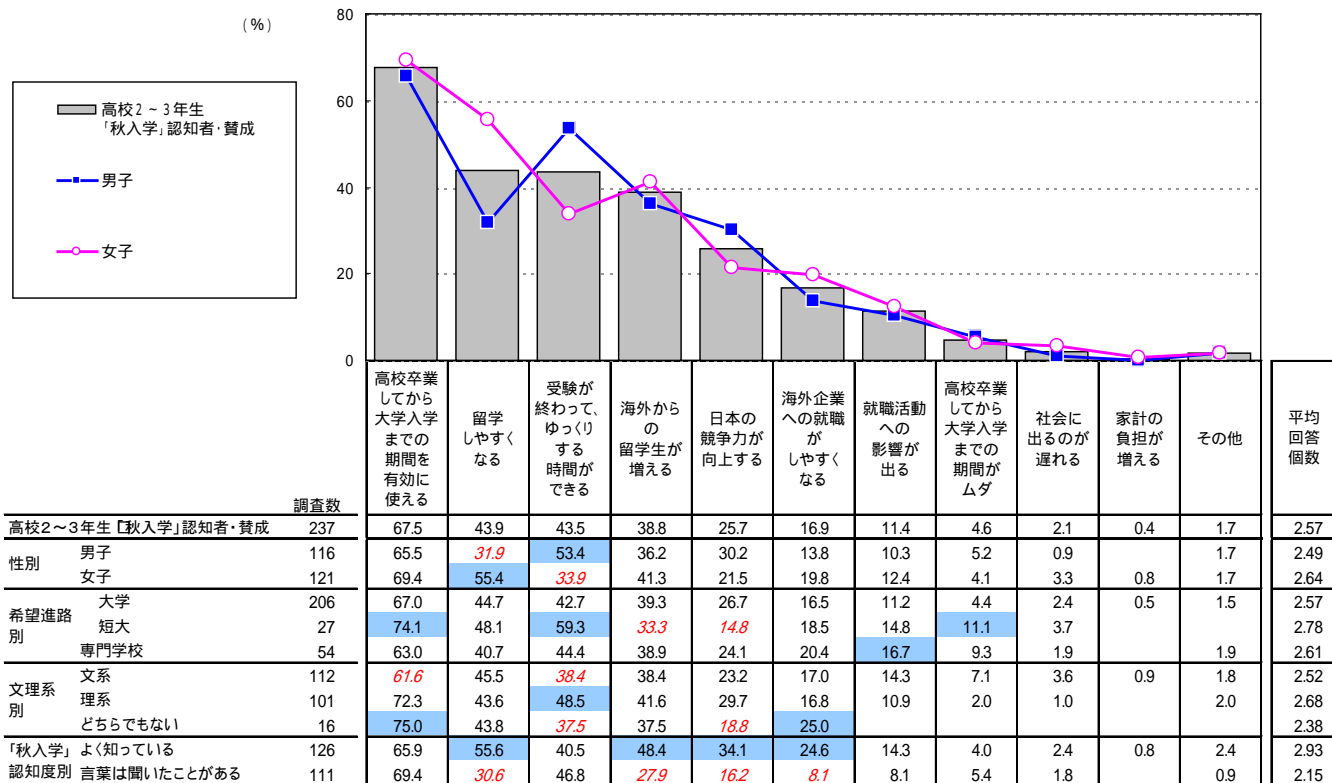
- 第1位 高校卒業してから大学入学までの期間を有効に使える 67.5%
- 第2位 留学しやすくなる 43.9%
- 第3位 受験が終わって、ゆっくりする時間ができる 43.5%
- 第4位 海外からの留学生が増える 38.8%
- 第5位 日本の競争力が向上する 25.7%

男女別にみると、男子は受験後にゆっくりする時間ができることを評価。女子は留学のしやすさを評価している。

- ・男女別に大きな差がみられたのは、下記2項目
  - 「受験が終わって、ゆっくりする時間ができる」は男子が多い。  
男子 53.4% > 女子 33.9%
  - 「留学しやすくなる」は女子が多い。  
男子 31.9% < 女子 55.4%

## 「秋入学」に「賛成」の理由（高校2～3年生「秋入学」認知者・賛成/複数回答）

前問（「秋入学についてどのようにお考えですか」）でそう思う理由としてあてはまるものをお選び下さい。



100.0 「全体」より5ポイント以上高い 「秋入学」認知者・賛成の降順ソート  
 100.0 「全体」より5ポイント以上低い

# 【秋入学導入に反対の理由】

反対の理由は、「高校卒業してから大学入学までの期間がムダ」。

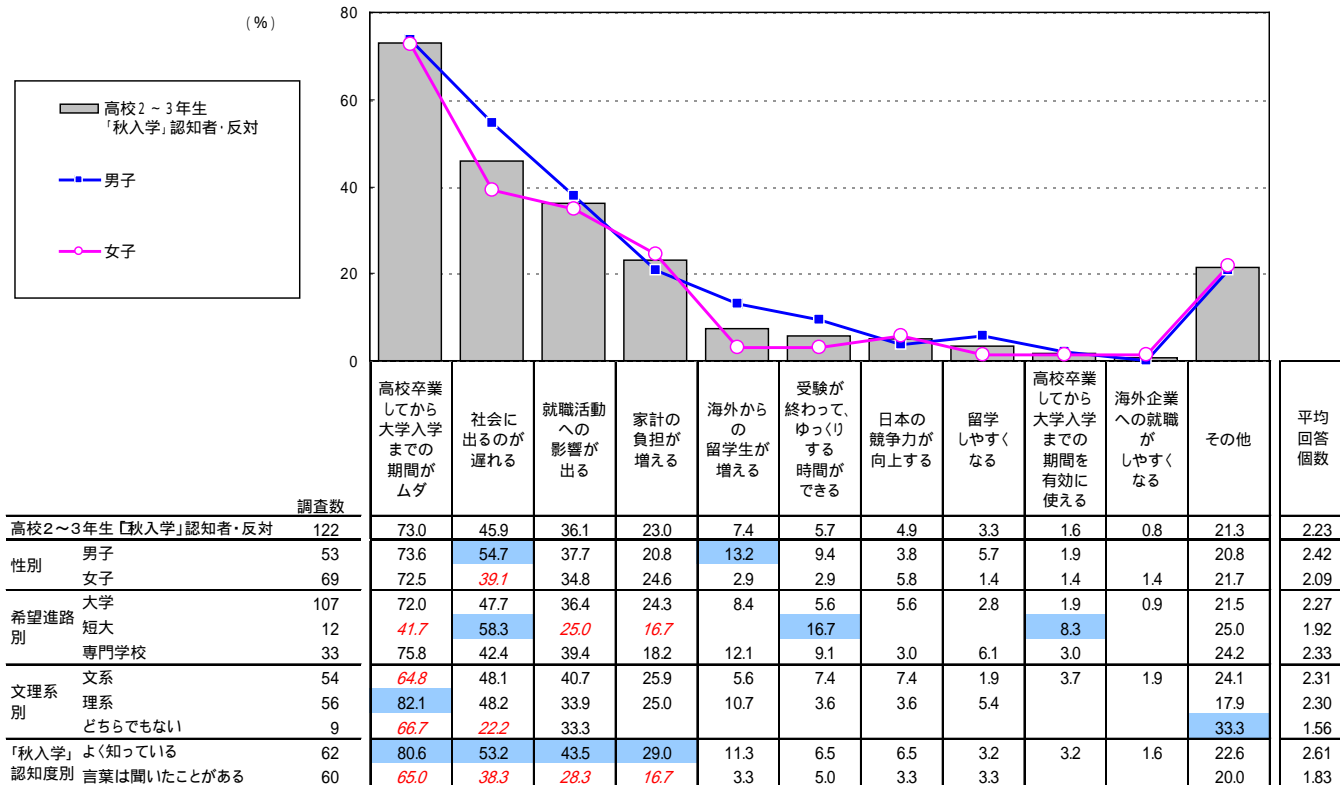
- 第1位 高校卒業してから大学入学までの期間がムダ 73.0%
- 第2位 社会に出るのが遅れる 45.9%
- 第3位 就職活動への影響が出る 36.1%
- 第4位 家計の負担が増える 23.0%
- 第5位 海外からの留学生が増える 7.4%

「その他」（21.3%）の主な内容（フリーコメントより抜粋）

- ・日本の四季や伝統を守りたい  
 「日本の入学というものは桜の季節にあるべきものだと考えるから」（山梨/男子）  
 「日本には四季があり、伝統がある。伝統を守るべきではないか」（愛知/女子）
- ・必要性に対する疑問  
 「秋入学によって留学生の獲得を目指すのではなく、大学の研究内容や活動によって留学したいという大学を作っていくべき。また、東京大学などのトップ校はよいかもしいないが、それに当てはまらない大学がする必要があるのか疑問を感じる」（栃木/男子）  
 「外国からの留学生は増えないと思うし、日本のトップ層がハーバードとかに流れるのも止められないと思う」（東京/男子）

「秋入学」に“反対”の理由（高校2～3年生「秋入学」認知者・反対/複数回答）

前問（「秋入学についてどのようにお考えですか」）でそう思う理由としてあてはまるものを選び下さい。



100.0 全体より5ポイント以上高い  
 100.0 全体より5ポイント以上低い

「秋入学」認知者・反対の降順ソート

# 【グローバル化と自分との関係】

高校生の7割が、グローバル化は自分と関係があると感じている。

・関係あり 72.0% > 関係なし 25.5%

男女別にみると、男子の意識が高い。

・男子「関係あり」75.4% > 女子「関係あり」69.3%

文理系別にみると、理系の意識が高い。

・理系「関係あり」80.7% > 文系「関係あり」69.3%

進学希望分野別にみると、「地球・環境・エネルギー」分野希望者の意識が高く、「料理・お菓子・栄養」分野希望者の意識が低い。

(意識の高い分野)

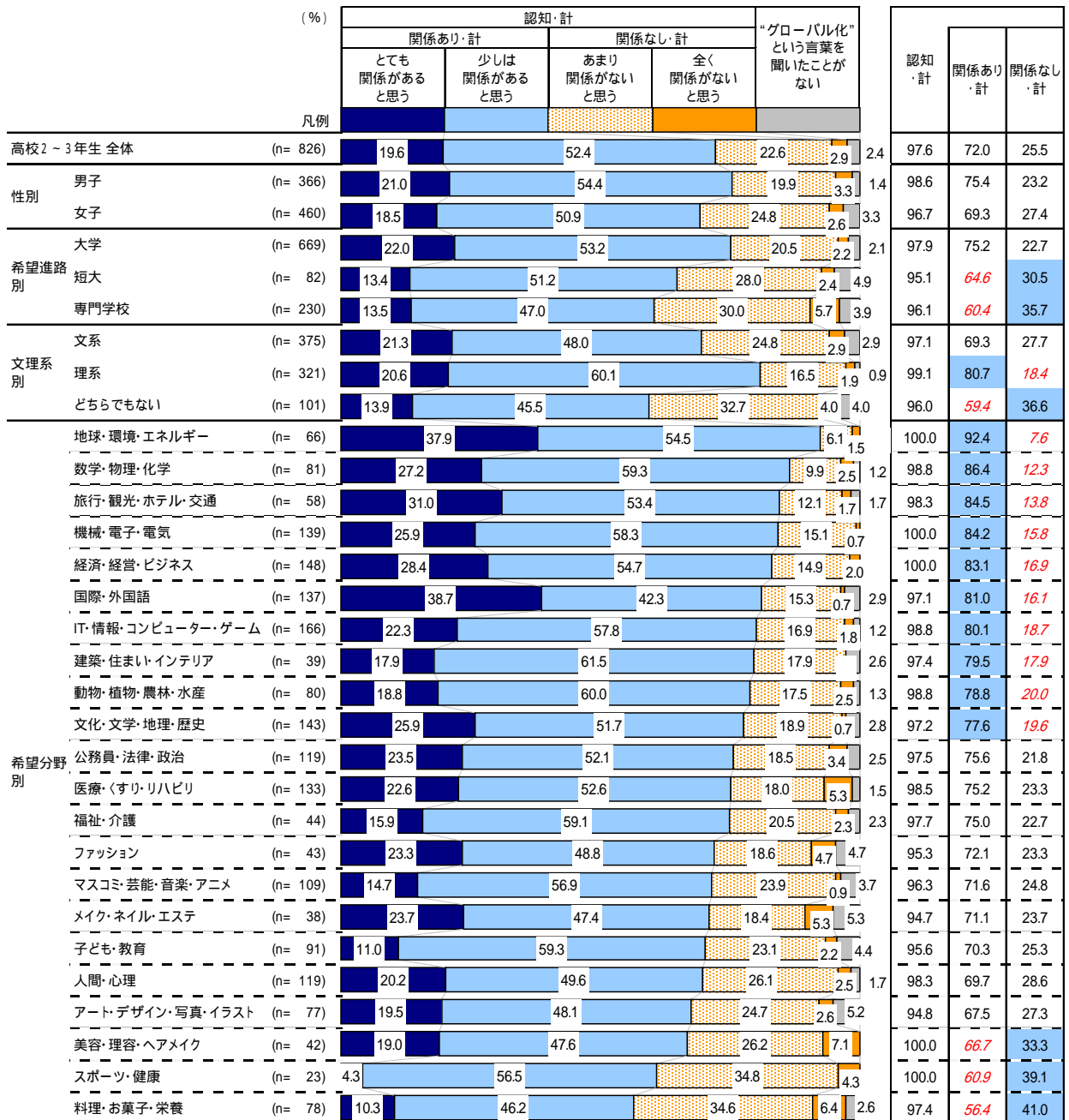
- 第1位 地球・環境・エネルギー 92.4%
- 第2位 数学・物理・化学 86.4%
- 第3位 旅行・観光・ホテル・交通 84.5%

(意識の低い分野)

- 第1位 料理・お菓子・栄養 56.4%
- 第2位 スポーツ・健康 60.9%
- 第3位 美容・理容・ヘアメイク 66.7%

## “グローバル化”と自分の関係 (高校2～3年生 全体/単一回答)

“グローバル化”が進むことは、あなた自身にどの程度関係があると思いますか。



100.0 小計:「全体」より5ポイント以上高い  
100.0 小計:「全体」より5ポイント以上低い

質問紙の回答の「とても関係があると思う」「少しは関係があると思う」をあわせて「関係あり」、「あまり関係がないと思う」「全く関係がないと思う」をあわせて「関係なし」とした。



# 【外国語を学ぶ必要性】

高校生の85%が、外国語を学ぶ必要性を感じている。

・必要 85.2% > 必要ではない 5.0%

男女別にみると、女子の意識が高い。

・女子「必要」 86.7% > 男子「必要」 83.3%

文理系別にみると、理系の意識が高い。

・理系「必要」 89.7% > 文系「必要」 84.0%

進学希望分野別にみると、「国際・外国語」分野希望者の意識が高く、「アート・デザイン・写真・イラスト」分野希望者の意識が低い。

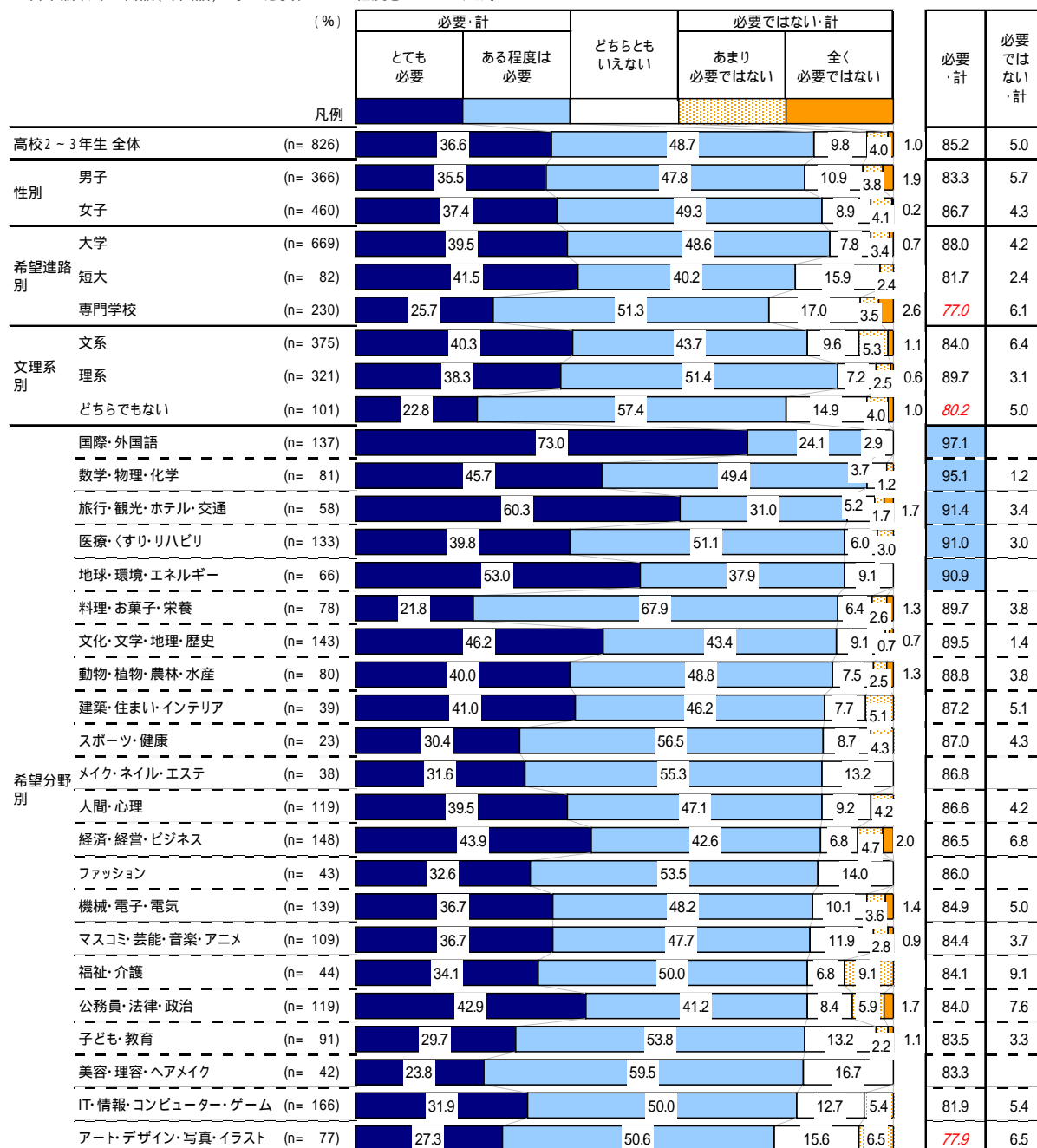
(意識の高い分野)

(意識の低い分野)

第1位 国際・外国語	97.1%	第1位 アート・デザイン・写真・イラスト	77.9%
第2位 数学・物理・化学	95.1%	第2位 IT・情報・コンピューター・ゲーム	81.9%
第3位 旅行・観光・ホテル・交通	91.4%	第3位 美容・理容・ヘアメイク	83.3%

## 外国語を学ぶ必要性 (高校2~3年生 全体 / 単一回答)

日本語以外の言語(外国語)を学ぶ必要性をどの程度感じていますか。



100.0 小計:「全体」より5ポイント以上高い

100.0 小計:「全体」より5ポイント以上低い

質問紙の回答の「とても必要」「ある程度は必要」をあわせて「必要」、「あまり必要ではない」「全く必要ではない」をあわせて「必要ではない」とした。